

鹿児島県立総合体育館建設誘致を求める意見書

2020年オリンピックの東京開催が決定した。

くしくも同年、国民体育大会鹿児島大会の開催が決定しており、県民にとっては二重の喜びである。

伊藤知事は、国民体育大会のメイン会場の一つである県立総合体育館について、建設場所も含め、地域や関係者の理解を得るために、幅広く多くの人から意見を聞き、計画の再検討をすることを決めている。

霧島市は、薩摩半島、大隅半島等鹿児島県本土及び南九州のほぼ中央部に位置している。そして、国際線を持つ鹿児島空港を有し、高速道路利用で鹿児島市から30分、宮崎市から85分、熊本市から105分、福岡市からも170分で往来が可能であるなど、交通体系が整った南九州の交通の要衝で、陸・空の玄関口として国内はもとより海外からのアクセスに優れている。

また、霧島市内には宿泊施設が200以上あり、1万人を超える宿泊客収容が可能であることなどから、県立総合体育館の立地に最適の条件を満たしている。

よって、県内の均衡ある発展にも繋がることから、県立総合体育館の建設地として霧島市（鹿児島臨空団地を含む）を選定されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年10月4日

鹿児島県霧島市議会

鹿児島県知事 伊藤 祐一郎 殿